

Rotary

Rotary International District 2570
GOVERNOR's Monthly Letter

2023-2024年度
ガバナー月信 Vol.9

3月号



ロータリー月間テーマ (3月)
水と衛生月間

写真説明文は3ページ



世界に希望を生み出そう

— 地区スローガン —

“希望を語ろう”

— We are Rotary, together —



ガバナーメッセージ



2023-2024年度国際ロータリー
第2570地区ガバナー

高丹 秀篤 (深谷RC)

「ロータリーの友」2月号の各地区ガバナーの「ロータリー・モメント」という寄稿文の中で、私のロータリー・モメントとして、東南アジア諸国を国際奉仕メンバーとして訪れた時の経験を語っています。それはタイでもミャンマーでもフィリピンでも、未だに学校の水道蛇口からきれいな、衛生的な水が出る学校は限られています。今年一月に国際協議会がアメリカ・フロリダ州で開催されました。そこで、RI会長エレクトのステファニー A・アーチック氏の次年度国際ロータリーテーマが発表されました。「The Magic of Rotary」です。

アーチックRI会長エレクトはドミニカ共和国で、ロータリークラブが設置した浄水器からきれいな水が出てくるのを見た男の子が、彼女の袖を引っ張り、もう一度魔法を見せて。といったそうです。安全できれいな水は彼らには魔法を使ったと思えたのかもしれません。「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を降って、呪文を唱えるだけで会員を増やしたり、ポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジックを生み出すのです」つまり、アーチック氏は、世界中のロータリアンに、多くの人々を救うロータリーの力（ロータリーのマジック）を認識して、これをさらに広げるようよびかけているのです。また、アーチック氏はこの浄水器設置活動を通して、多くの人の人生を変える力を持っていることを体験したのです。「私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです」と述べています。（詳しくはロータリー友2月号42ページ）

私もアーチックRI会長エレクトと同じような体験をしました。そのことを、「ロータリー・モメント」という表現で表しました。皆さんもきっと同じような経験・体験をされていることでしょう。私は改めて、ロータリーに参加して、ロータリーを感じて、ロータリーを楽しんでくださいと強調したいと思います。

ガバナー月信掲載写真説明文



環境問題をテーマとした“狭山市中学生環境作文コンクール2023”の表彰式が2023年12月17日(日)狭山市役所で行われた。主催：新狭山RC、共催：狭山中央RC・NPOさやま環境市民ネットワーク、協力：狭山CATV(株)、後援：狭山市・狭山教育委員会。

3回目となる今回は前年より多い268点が寄せられ、15点が入賞作に選ばれた。第1部では受賞者に賞状と記念品が贈られ、国際ロータリー第2570地区高丹ガバナー、狭山市小谷野市長の祝辞に続き、優秀作品の朗読が行われた。

第2部では狭山市長と受賞者による「SDGsや気候変動」について活発な意見交換が行われた。受賞者からは、発表の機会をいただき感謝している、これからも是非続けてほしいとの声があった。表彰式の模様は、狭山CATVのコーナーで一日5回、4日間放送され、朝日新聞、読売新聞にも掲載された。

今後もR財団補助金支援によるこのプログラムをさらに拡大発展し、次代を担う中学生の育成、SDGsの推進とロータリーの公共イメージの向上に繋げていきたい。

特別寄稿 by 竹内 克
(新狭山ロータリークラブ会長)



会 協力：狭山ケーブルテレビ株式会社



日本文化体験セミナー



ロータリー米山記念奨学委員会

推進委員会委員

京野 弘一 (川越RC)

年明けから間もない1月7日(日)、国立女性教育会館に於いて『日本文化体験セミナー』を開催いたしました。この事業は2570地区で支援している米山奨学生と青少年交換留学生を対象に、代表的な2つの和の文化を体験していただき、より深い日本文化の理解に繋がる学びの機会を提供することを目的として企画されたものです。

前半は熊谷の「御菓子司花扇」の店主高橋 隆様と職長高橋 功典様を講師にお迎えし、和菓子職人の手ほどきを受けながら、実際にお店で使われている本格的な道具と食材を使った練切作りを体験しました。職人の繊細な技を間近で見ながら、皆初めてとは思えない程上手に作れるようになり、参加者同士の会話も弾んでいました。旬の食材を使い、生地は季節を象徴するモチーフに見立て、日本人が古来より大切にしてきた四季折々の美しさや尊さが込められた和菓子の芸術性を感じていただけたのではないのでしょうか。

後半は孝仙先生（柿沼 孝枝会員：行田RC）を講師にお迎えし、日本家屋の本格的なお茶室にて茶道を体験していただきました。茶道の歴史・思想・用語・道具・基本的な作法などについて分かりやすく解説していただき、講師がお茶を点て、一連の振る舞い方のお手本を披露。前半の和菓子体験でご指導いただいた「花扇」のお正月らしいお菓子と共に、自ら点てたお茶を堪能しました。心を込めて一杯のお茶を点てるために様々な気遣いがされていることに感心しながら、ゆったりとした時間を過ごしました。

本事業はロータリー米山記念奨学委員会と青少年交換委員会の2委員会の共同事業として行われました。参加した米山奨学生と青少年交換留学生の17名はもちろん、2570地区の委員同士の交流も深められたことは素晴らしく、大変有意義な事業となりました。







ロータリー・リーダーシップ研究会・パートⅡ 開催報告



ラーニング委員会 R L I 担当委員長

R L I 担当委員長 **矢島 淳一** (本庄RC)

2024年1月27日(土)、本庄商工会議所で、ロータリー・リーダーシップ研究会 (R L I) パートⅡが、高丹ガバナーによる点鐘・挨拶、地区ラーニングファシリテーター相原PDGによる挨拶を頂き開催されました。コロナによる行動制限が緩和されたためか、国立女性教育会館が予約できず、本庄での開催となりました。



42名の参加者と16名のファシリテーター (F T・旧称ディスカッションリーダー) が、パートⅡ「私たちのクラブ」をテーマに、次の6つのセッションについてディスカッションを行いました。



1. 戦略計画とクラブの分析
2. 会員を勧誘する
3. チーム作りとクラブコミュニケーション
4. 米山記念奨学事業
5. 財団Ⅱ 目標とする奉仕
6. 強いクラブを創る

参加者は、6～7名のクラスに分かれ、2～3名のF Tの下、それぞれの意見を対話形式でディスカッションしました。

パートⅠで、参加者の多くは顔なじみとなり、今回は、開講前の時間から打ち解けた雰囲気でした。ディスカッションが始まると、参加者からは「私たちのクラブ」の各テーマについて、それぞれの角度から活発な発言がありました。ガバナーの挨拶にもあった、D E I（多様性・公平さ・インクルージョン-包摂）は、参加者もディスカッションの中で、その重要性を十分認識したようでした。他人の意見を聞き、自らの考えを発表して得た参加者の気づきは、各クラブの運営に必ずフィードバックされることと感じました。

寒風の午前8時30分前に委員とF Tが集合し、テーブルと椅子を並べ9時に登録を開始。第6時限が終り、地区代表ファシリテーター坂本P D Gによる講評と閉会点鐘がなされた午後4時45分過ぎには、外秩父の山並みに美しい夕日が傾いていました。

次回パートⅢは、「私のロータリーの旅」をテーマに2024年3月9日(土)に開催されます。引き続き皆様のご参加をお待ちしております。



(左から) 高丹秀篤ガバナー・PDG 相原茂吉地区ラーニングファシリテーター・
PDG 坂本元彦RLI 日本支部地区代表ファシリテーター

第2回社会奉仕セミナー



社会奉仕委員会

統括委員長

戸高 健司 (新座こぶしRC)

1月28日(日)国立女性教育会館110会議室において第2回社会奉仕セミナーを開催いたしました。第1回セミナーでは、「子どもの貧困」という奉仕対象にスポットを当てた内容でしたが、今回は奉仕の「手法」に焦点を当て、複数クラブおよび他団体との連携や協力というテーマでセミナーを組み立てました。

第一部は、地区内代表クラブによる共同事業の事例発表をいただきました。今日、影響力ある奉仕を行うためには、複数のクラブが共同で事業を行い、地域のいろいろな団体を巻き込んでいくことが重要になっています。東松山むさしロータリークラブ小藤恵美子会長、和光ロータリークラブ鈴木早苗会長、新狭山ロータリークラブ石田嵩R財団委員長から発表いただきました。

第二部では、ロータリー以外の奉仕団体を知り、ロータリーの社会奉仕に活かしていくことを提案いたしました。地域社会奉仕員会で調査した、ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト、青年会議所の概要と活動を紹介し、続いて、ライオンズクラブ国際協会のお客様をお招きして、奉仕に対する考え方や活動の内容を直接お伺いしました。ライオンズクラブ国際協会から330-C地区田中雄一ガバナーと猪野塚弘樹副ガバナーにご登壇いただき、高丹ガバナーと五十幡エレクトとの対談を企画いたしました。限られた時間ではありましたが、両団体のガバナーが一堂に会する機会を得ることができたことは、貴重な体験となりました。





大相撲初場所13日目 最高の空気でした



甞れ2570プロジェクト第1委員会

委員長 岡部 みゆき (坂戸さつきRC)

入間南RCの西澤正夫会員（地区甞れ2570委員）は学生相撲出身。子供たちに長年にわたり相撲の指導をされてきました。各界からの信頼は厚く、今回、2570地区での相撲観戦希望を伝え、「春日野部屋」（元関脇乃和歌親方）に要請。升席25席100名を確保。しかしながら、相撲は国技、人気は高く、地区内50クラブから28クラブ138名の希望者があつまり、椅子席を増やすなど対応してくださいました。

なみなみならぬ、西澤委員のパワーによって大所帯での相撲観戦が実行実現できました。

委員会としては、桟席希望を椅子席に回っていただくなど、各クラブにご無理を申し上げたこともあり、朝の取り組みから観戦できる準備をしました。

早い方では朝一番からの取り組みを楽しまれておりました。

相撲は江戸文化、両国の駅を降りると、ちゃんこ鍋の看板が目に入り、耳には太鼓の音、続いて国技館をとりまく派手な幟、力士が歩くとほのかに香るびんつけ油のにおい、その場にいるだけで高揚感が高まります。

力士の国技館入りを待つファンの数の多いことも「相撲を見に来た」という気持ちに拍車がかかりました。

いざ国技館へ。幕内力士土俵入りと横綱土俵入り、場内には満員御礼の垂れ幕も。

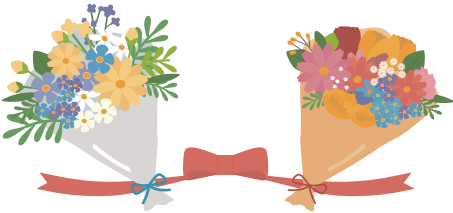
ひいきの力士へのエール、力士同士のぶつかる音、豪快な投げ、勝敗の決まり手のあとの歓声など、ライブならではの臨場感に多くの笑顔が生まれました。地区内各クラブ間の交流もできた模様でもあり、プロジェクトとしては成功でした。当日の様子はYouTube「RI2570地区大相撲観戦」でアップされています。このあとは3月10日本庄文化会館で防犯コメンテーター佐々木成三氏をお迎えし、「希望の風チャリティ講演」を開催します。





表彰

PHP	ポール・ハリス・フェロー	MPHP	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	PHS	ポール・ハリス・ソサエティ
MD	メジャードナー	BF	ベネファクター	米山	米山功労者
米山M	米山功労者マルチプル	米山MD	米山功労者メジャー・ドナー	数字	表彰回数

PHP 1 新井 孝敏 所沢西	MPHP 1 石井 秀夫 所沢西	PHP 1 小林 群司 行田	BF 1 鈴木 敬一郎 行田さくら
MPHP 8 五十幡 和彦 行田さくら	MD 2 前嶋 修身 熊谷	MPHP 5 日向 美津江 熊谷	MPHP 4 小林 薫 熊谷
MPHP 4 福島 良浩 熊谷	MPHP 2 富岡 清 熊谷	MPHP 2 田所 勤 熊谷	MPHP 1 田中 治男 熊谷
米山M 4 國分 忠志 熊谷龍原	米山 1 池田 敏和 熊谷龍原		

新会員紹介

入 入会年月日 勤 勤務先 役 役職 生 生年月日 紹 紹介者

所沢西 本木 裕一朗 入 2023年9月5日 勤 株式会社 モトキ 役 代表取締役 生 1964年9月13日 紹 本橋源太郎	所沢西 藤井 義明 入 2023年9月5日 勤 株式会社 藤井園 役 代表取締役 生 1964年1月4日 紹 本橋源太郎	所沢西 木下 公次 入 2023年9月26日 勤 株式会社 木下フレンド 役 代表取締役 生 1965年10月9日 紹 本橋源太郎	東松山 大塚 亮 入 2024年1月10日 勤 大塚ポリテック株式会社 役 代表取締役社長 生 1964年11月14日 紹 山下三佐子
熊谷 亘 秀之 入 2024年1月12日 勤 武蔵コーポレーション株式会社 役 取締役 生 1982年7月5日 紹 木島一也/田中治男	深谷東 荒木 学 Manabu Araki 入 2024年1月12日 勤 株式会社 株式会社 役 代表取締役社長 生 1975年4月30日 紹 村岡敏弘	秩父 山口 能弘 Yoshihiro Yamaguchi 入 2024年1月23日 勤 株式会社 株式会社 役 代表取締役 生 1975年2月10日 紹 山根益男	岡部 知念 ポール Paul Chinen 入 2024年2月1日 勤 株式会社PSコーポレーション 役 代表取締役 生 1979年4月29日 紹 内田勝一
川越小江戸 笛木 健一 入 2024年1月11日 勤 あんくる保険サービス 役 代表取締役社長 生 1961年3月15日 紹 金子貞男	川越小江戸 松川 厚子 入 2024年2月1日 勤 有限会社 富沢薬局 役 代表取締役 生 1952年1月11日 紹 山本庄一	皆野・長寿 小埜 和也 Kazuya Ono 入 2024年2月15日 勤 株式会社 長正館 役 代表取締役 生 1976年4月14日 紹 高田富康	

■ 会員数 (2024年1月)

グ ル ー プ	クラブ名	会 員 数					My Rotary登録率 %
		2023年初7月1日	1月 末	対 年 初 増 減	1 月 末 女 性 会 員		
第 1	川越	100	102	2	4	45	
	東松山	22	24	2	2	38	
	小川	7	6	-1	2	0	
	坂戸	28	28	0	1	10	
	越生毛呂	10	9	-1	1	0	
	川越小江戸	10	14	4	1	36	
	川越西	24	24	0	4	40	
	鶴ヶ島	30	30	0	3	67	
	川越中央	23	23	0	1	17	
	坂戸さつき	21	20	-1	3	20	
	東松山むさし	39	38	-1	4	28	
	小 計	314	318	4	26	27	

第 2	朝霞	21	23	2	2	50	
	志木	41	49	8	4	44	
	富士見	35	36	1	0	36	
	新座	22	22	0	3	18	
	和光	12	11	-1	3	100	
	朝霞キャロット	10	10	0	0	35	
	新座こぶし	8	9	1	3	44	
	小 計	149	160	11	15	47	

第 3	入間	39	39	0	1	41	
	所沢	58	62	4	5	22	
	飯能	65	64	-1	1	10	
	新所沢	17	17	0	2	29	
	日高	20	20	0	3	35	
	所沢西	35	39	4	4	31	
	新狭山	18	18	0	0	78	
	所沢東	49	48	-1	2	20	
	入間南	39	38	-1	0	41	
	所沢中央	18	19	1	2	79	
	狭山中央	19	19	0	5	32	
	小 計	377	383	6	25	38	

第 4	深谷	58	56	-2	12	46	
	本庄	92	94	2	7	37	
	秩父	48	53	5	1	36	
	寄居	33	35	2	0	11	
	児玉	2	2	0	0	0	
	岡部	16	16	0	2	63	
	深谷東	63	70	7	0	35	
	川本	6	6	0	0	0	
	皆野・長瀬	6	7	1	0	29	
	2570パスポート	2	2	0	1	100	
	深谷ノース	25	25	0	2	48	
	小 計	351	366	15	25	37	

第 5	熊谷	95	98	3	4	49	
	行田	55	56	1	6	12	
	羽生	40	42	2	3	7	
	加須	21	23	2	0	9	
	熊谷西	8	8	0	0	13	
	行田さくら	51	53	2	2	75	
	熊谷東	20	19	-1	1	20	
	吹上	6	6	0	1	67	
	熊谷籠原	27	29	2	0	38	
	熊谷南	28	27	-1	2	36	
	小 計	351	361	10	19	33	

地区	合 計	1,542	1,588	46	110	36	
----	-----	-------	-------	----	-----	----	--

■ スケジュール

日 時	担当委員会名	内 容	開催場所
3月	2日(土)	ロータリー財団委員会 補助金管理セミナー	国立女性教育会館
	9日(土)	RLI担当委員会 RLI パートⅢ	嵐山女性教育会館
	20日(水)	米山記念奨学委員会 修了式及び歓送会	アルカーサル川越迎賓館
	25日(月) ~ 27日(水)	青少年交換委員会 国際ロータリー交換学生スキージョイント in 白馬	白馬五竜スキー場 白馬東急ホテル
	30日(土)	RLI担当委員会 ファシリテーター養成講座準備会議	紫雲閣
4月	7日(日)	米山記念奨学委員会 オリエンテーション	アルカーサル川越迎賓館
	13日(水)	ロータリー財団委員会 第4回オリエンテーション	坂戸市文化施設オルモ
	13日(水)	RLI担当委員会 ファシリテーター養成講座	嵐山女性教育会館



ガバナー月信 3月号

2023-2024年度 vol.9

2024年3月1日発行

国際ロータリー第2570地区 地区事務所

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号

ガーデンホテル紫雲閣内

[TEL] 0493-21-2570 [FAX] 0493-21-2571

[mail] d-office@mail.rid2570.gr.jp

[web] https://www.rid2570.gr.jp

[月信原稿送信先] masahiro-31@nifty.com

ガバナー月信編集委員会 委員長 下境 将寛